

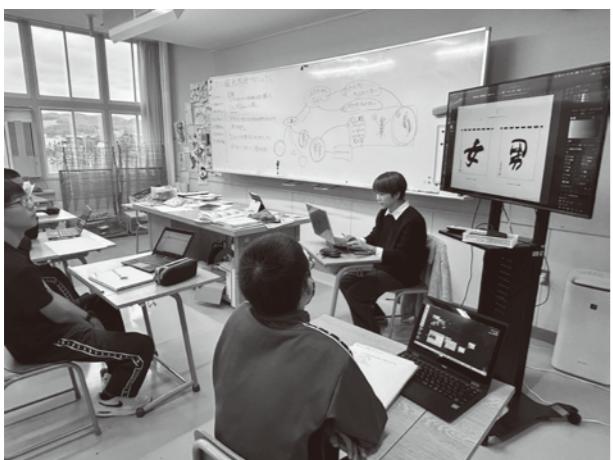
小学校 6年 家庭科 ミシン

10月30日、11月6日の2日間、家庭科のミシン授業を地域の5名の方がサポートしてくださいました。エプロン作成に取り組む6年生たちの一人一人の作業を見守り、手助けをしてください、スムーズに授業が進行しました。参加した地域の皆さんには、子どもたちと過ごす時間はあつという間だった。名前を憶えてくれて嬉しかったとお話ししていました。



中学校 3年 美術 パッケージデザイン

10月29日、町内の様々なプロダクトのデザインに関わる吉岡芽映さんをゲストに、パッケージデザインのプロセスや発想の仕方について学びました。実際に出来上がったものだけでなく、そのプロセスでどんな言葉やラフスケッチをしたのかなど実物も見せてもらい貴重な体験でした。この後、実際に中学生はうどんのパッケージデザインに挑戦します。



4年 総合 伝統芸能

11月5、6、8日と、上名寄伝統芸能保存会の皆さんのが来校し、4年生に「麦や節」「かわさき」「春駒」などの伝統芸能を教えていただきました。まずは動画で踊りの全体を学び、一つ一つの動きを実際にやってみながら覚えます。難しい振りの場面では、何度も繰り返しながら練習をしていました。11月の参観日に披露の予定です。



2年 家庭科 調理実習

11月7日、14日に、下川町社会福祉協議会が主催する「つながるカフェ」の一環で、調理実習にのべ11名の地域の方々がお手伝いに来てくださいました。ハンバーグ、サンマの3枚おろしと、少し難しい包丁使いですが、地域の方のアドバイスや見守りで安全に楽しく授業をすることが出来ました。



共
育
に
ゆ
一
す



10/21-23 ファシリテーション授業・研修

株ひとまち ちよんせいこさんを講師にお招きし、今年度2回目のファシリテーション授業・研修を行いました。こどものもり、下川小学校、下川中学校、下川商業高校、先生方、また役場職員、議員、親子向けのファシリテーション授業・研修が計15回行われ、のべ252人が学びました。親子向けの講座では、5歳から中学生の子どもと親の参加者などが参加し「おでかけの計画を立てよう」をテーマに、一人一人の意見を聞き合ってみんなで決める話し合いのプロセスを学びました。今回も、子どもたちから大人まで、身近な話し合いの場を見直し、ファシリテーションの技術と心構えを学ぶことができました。

中学校2年生 「友達インタビュー」	小学校6年生 「道徳:マザーテレサ」	高校1年生 「ビジネスコミュニケーション」
町議会議員	親子向け 「おでかけの計画を立てよう」	こどものもり職員 「懇談会の場づくり」

感 想

普段なかなか意見が言えない子も、ファシリテーションの場ではいきいきと話が出来ていて、とても良い場になっていました。

ファシリテーションを意識できると、子どもたちと先生との距離も縮まるし、子ども同士の距離も近づくと感じた。先生が授業をするというより、みんなで授業をするというのがいいなと思いました。

話を聞いた後、良いことや困っていること、これからどうしたいですか?とさらに聞くのがとても新鮮だった。答えはその人自身が持っているのだなと思った。

普段は、子どもに父や母から投げかけることがほとんどだけど、5歳の娘からでも深ぼる質問もできるのだと驚きました。じっくり、ゆっくり話すことを家庭で心掛けたい。